

取扱説明書

JVC

KW-XC570

CD/カセットレシーバー



— お買い上げありがとうございます —

! ご使用の前に

この「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0768-001A

目次

| | |
|--------------------------|-------|
| ● 主な特長 | 2 |
| ● 安全上のご注意 | 3～7 |
| ● 正しくお使いいただくために | 8～9 |
| ● 各部の名前と働き | 10～15 |
| ● 基本操作 | 16～17 |
| ● 時計の合わせかた | 18 |
| ● 時計表示について | 19 |
| ● 音量・音質の調節 | 20～21 |
| ● EQの使いかた | 22～25 |
| ● EQ-LINK機能について | 26 |
| ● MODEボタンの使いかた | 27 |
| ● CDを聞く | 28～30 |
| ● テープを聞く | 31～34 |
| ● ラジオを聞く | 35～38 |
| ● CDチェンジャーのCDを聞く | 39～41 |
| ● 他の機器の音を聞く | 42～43 |
| ● 放送局名を表示させる | 44 |
| ● 文字入力のしかた | 45 |
| ● 文字配列表 | 46 |
| ● CDタイトルのスクロール表示のモードを変える | 47 |
| ● 表示窓のモードを変える | 48 |
| ● 表示窓の明るさ／コントラストを変える | 49 |
| ● レベルメーターの表示切換 | 50 |
| ● CD/テープの盗難防止 | 51 |
| ● リモコン(別売り:RM-RK41)の使いかた | 52～53 |

| | |
|----------------|-------|
| ● 放送局名一覧 | 54～58 |
| ● 保証書とアフターサービス | 59 |
| ● 故障かな?と思う前に | 60～61 |
| ● 主な仕様 | 62～63 |
| ● お手入れ | 裏表紙 |

主な特長

- 2 DINサイズのCD/カセットレシーバー
 - ・ダイレクト選曲
 - ・ランダム演奏/リピート演奏/イントロスキャン
 - ・8センチCD対応(アダプターなしでダイレクトイン)
 - ・CD-R/CD-RW対応
- ダイレクトソース(音源)切換
 - ・ラジオやCD、テープまたはCDチェンジャーなどの演奏がワンタッチでスタート(電源を入れることも可能)
- 最大出力45W×4chハイパワーアンプ内蔵
- フルロジックオートリバースメカニズム
 - ・ドルビーB NR搭載
 - ・前後9曲のミュージックスキャン
- SSM搭載チューナー

ストロークス・フュージョンメモリー

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

警告

- 本機はDC12V マイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

- 配線作業中はバッテリーの^{マイナス}端子のコードを外してください。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

- 本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。



・交通事故やけがの原因となります。

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



・交通事故や火災の原因となります。

- 車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

- 車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・事故の原因となります。

警告

- コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

- 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電流容量オーバーにより火災の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しないでください。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

- 万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

- 自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

⚠ 注意

■本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。



・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけが・故障の原因となることがあります。

■雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

■振動の多いところなど、しっかり固定できないところへの取り付けは避けてください。



・外れて事故やけがの原因となることがあります。

■本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。



・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

■本機を不安定なところに取り付けしないでください。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

■正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。

■車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。



・断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。



・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- カセットテープ挿入口やディスク挿入口に異物を入れないでください。



・ 火災や感電・故障の原因となることがあります。

- カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。



指をはさまれないよう注意

・ けがの原因となることがあります。

- 本機を車載用として以外は使用しないでください。



・ 感電やけがの原因となることがあります。

- 指定の電池以外は使用しないでください。



・ 電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

- 電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れてください。



・ 間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

正しくお使いいただくために

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり45W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDやテープを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。

(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ずこの取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの⊖側が車の金属部に接続されていたり、⊖側同士が接続されていると故障の原因になります。

マイナス
*BTL : Balanced Transformerlessの略

バランスド トランスフォーマーレス
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

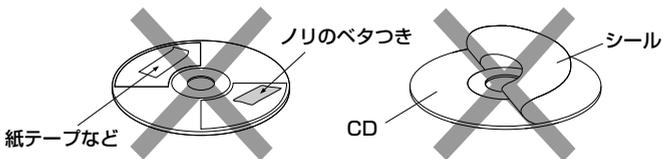
本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

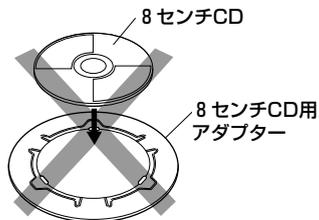
CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは**
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。
- **CD-R/CD-RWの取扱いについて**
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱い¹ため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- **記録面やラベル面に紙テープやシールを張ったりしないでください。**
そのまま使用するとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。



- **ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。**
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

- **8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。**
8センチCDは、そのまま挿入してください。



カセットテープの取り扱いかた

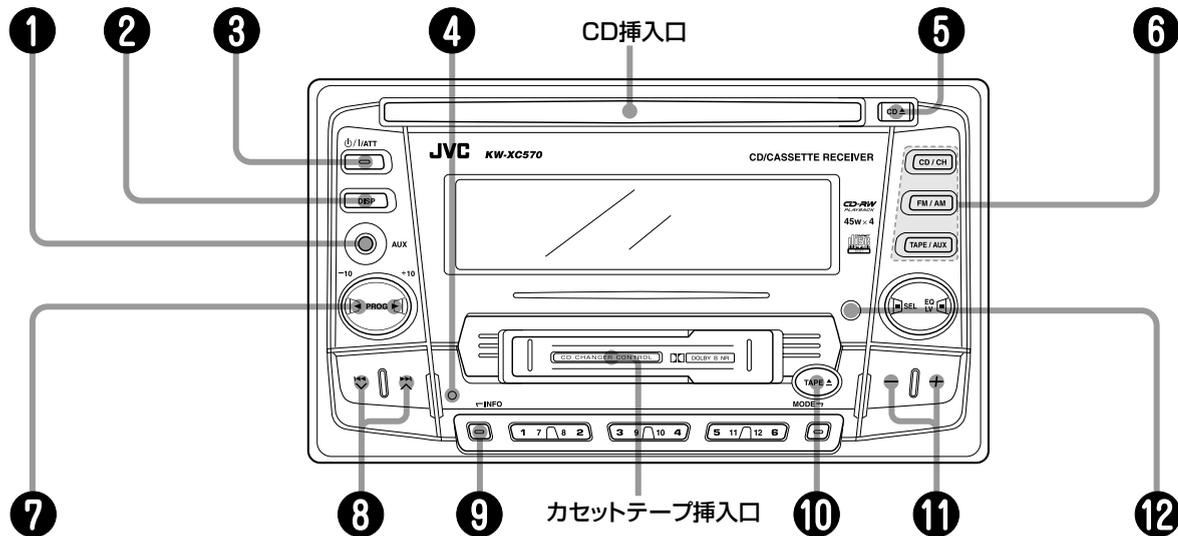
- ・テープに**たるみ**があると、巻き込んだり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにして**たるみ**を取り除いてください。
- ・テープを引きだしたり、テープ面にふれないでください。
- ・**C-120**などの長時間テープは薄いため、こきざみな走行や停止などをくり返すと、テープが機械の内部に巻き込まれることがありますのでご注意ください。



カセットテープの保管

- ・カセットテープはケースなどに納め、次のような場所は避けて保管してください。
- ・直射日光の当たる所
- ・ホコリや湿気の多い所
- ・スピーカーの上など磁気の影響を受けやすい所

各部の名前と働き



1 エューエックス
AUX端子 (φ3.5ステレオミニ)
市販のカーAV機器などを接続します。→42ページ参照

2 ディスプレイ
DISPボタン
表示窓の表示を変えるとき使います。→39, 44ページ参照
電源「切」のとき押しと、表示窓に時計が5秒間表示されます。

3 フォッテネーター
電源ボタン
電源「入」↔「切」や音量を一時的に下げることができます。
→16, 17ページ参照

4 リセットボタン
初めて電源を入れたときまたは、どのボタンを押してもうまく動作しなくなったとき、このボタンを押して内蔵のマイコンをリセットします。

5 CD▲(取出し)ボタン

CDを出し入れするとき使います。→29ページ参照

6 ソース(音源)切換えボタン

聞きたいソース(音源)を選ぶことができます。→16ページ参照
電源「切」のとき押すと、電源が入ります。

7 プログラム◀PROG▶/+10と-10ボタン

●「TAPE」のとき：◀PROG▶ボタン

テープの走行方向を変えることができます。→31ページ参照

●「CD」のとき：+10と-10ボタン

+10/-10ボタンとなり前後10曲ずつの頭出しができます。
→29ページ参照

8 電波、電波ボタン

●「ラジオ」のとき：選局ボタン

選局ボタンになります。→35ページ参照

●「CD」チェンジャー 「CD-CH」のとき：スキップ/サーチボタン

曲の頭出しや早送り、早戻しができます。
→30/40ページ参照

●「TAPE」のとき

1秒以上押すと早送りや巻戻し、「ポン・ポン」と押すとミュージックスキャン(曲の頭出し)ができます。→32ページ参照

9 インフォメーション INFOボタン

道路交通情報(AM1, 620kHz)を聞くとき使います。
→38ページ参照

10 TAPE▲(取出し)ボタン

テープを取り出すとき使います。→34ページ参照

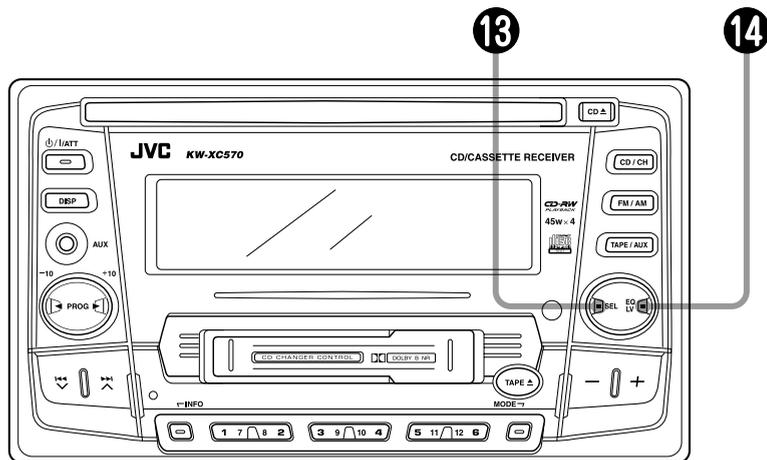
11 +、- (音量)ボタン

電子ボリュームのレベルなどを調節することができます。
→16/20ページ参照

12 リモコン受光部

別売りのリモコン(RM-RK41)の信号をここで受信します。
→32ページ参照

各部の名前と働き(つづき)



13 SELボタン

セレクト

音量調節のモードが選べます。押しごとに

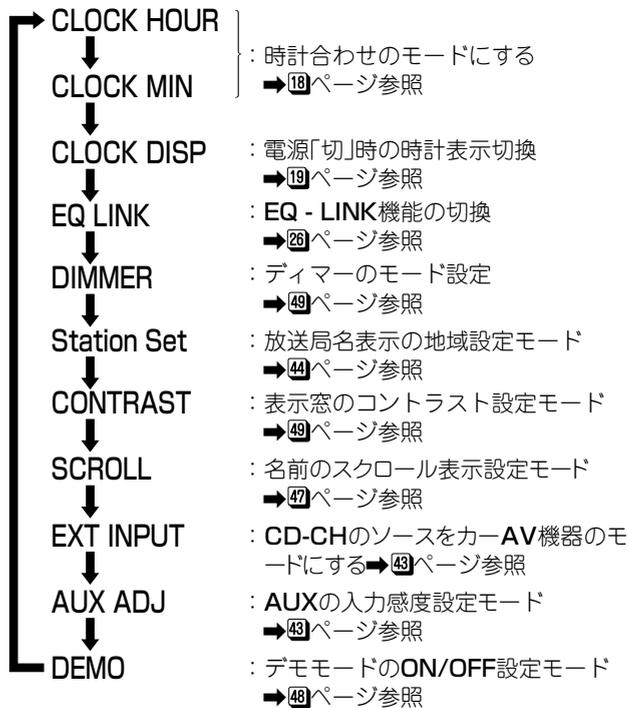


と選べます。→20ページ参照

また、MODEボタンで選んだ各モードを設定することもできます。→20ページ参照

●SELボタンを2秒以上押すと

時計合わせなどの各種設定モードになります。→13ページ参照
PSM表示のあと、お買い上げ時は「CLOCK HOUR」のモードになり時計合わせ(「時」の調節)ができます。このとき \blacktriangle (または \blacktriangledown)ボタンを押すとPSMのモードが選べます。13ページは、 \blacktriangle ボタンを押したときの表示順で \blacktriangledown ボタンを押すと逆に変わります。次からは選んだモードが優先的に表示されます。



14 EQ/LVボタン

イコライザー レベルメーター

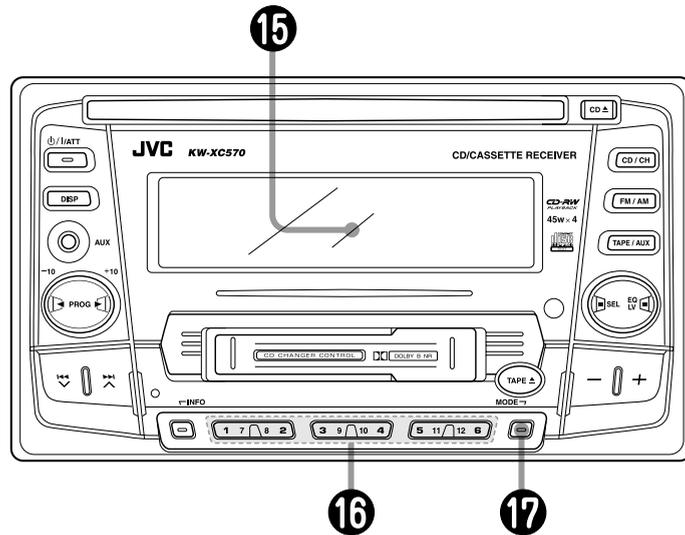
EQのパターンやS.BASS、レベルメーターの切換えができます。押すごとに

EQ → S.BASS 00 → L.V.METER

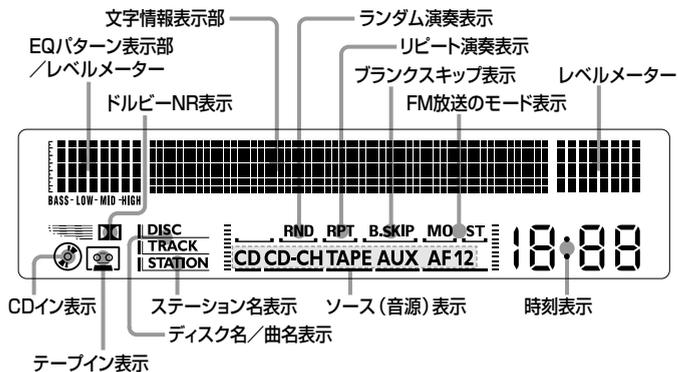
↑ ソース(音源)の表示 ↓

と選べます。→ 21 22 50 ページ参照

各部の名前と働き(つづき)



15 表示窓



16 1782 ~ 1782 ボタン

● ラジオのとき：プリセットボタン

放送局をメモリー(記憶)したり、メモリーした放送局を聞くとき使います。FM (FM1×6局、FM2×6局)、AM (AM1×6局、AM2×6局)の24局がメモリーできます。

→38ページ参照

● 「CD」のとき：曲番号ボタン

聞きたい曲を選ぶとき使います。→29ページ参照

● 「CD-CH」のとき：CDダイレクト選択ボタン

CDチェンジャー内の聞きたいCDを直接選ぶとき使います。→40ページ参照

17 モード MODEボタン

押すごとにモードが選べます。ただし、ソース(音源)によって使いかたが異なります。→27ページ参照

・「ラジオ」のとき



・「CD」および「CD-CH」のとき



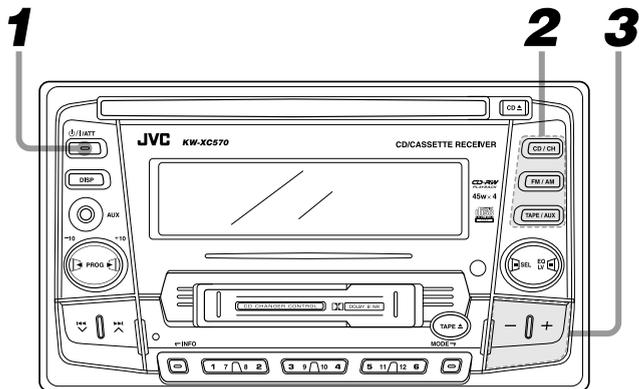
・「テープ」のとき



各モードを設定するときは、SELボタンを使います。

基本操作

— 番号順に操作します。 —



1 電源ボタンを押す



・電源が入り、表示窓に「HELLO！」が表示され、ソース(音源)は、お買い上げ時「ラジオ(FM1)」になります。

2 いずれかのボタンを押して聞きたいソース(音源)を選ぶ



：CDの音を聞くととき
押すごとに「CD」↔「CD-CH」の切換えができます。
(本機にCDが入っていないかたりCDチェンジャーが接続されていないと、ソースの切換えはできません。CDが入っていないと「NO DISC」が表示されます)

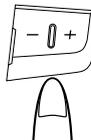


：FMまたはAM放送を聞くととき→ページ参照



：テープまたは他の機器の音を聞くととき
押すごとに「TAPE」↔「AUX」の切換えができます。
(テープが入っていないと「NO TAPE」が表示され、「AUX」のみになります)

3 +、- (音量) ボタンで音量を調節する



・^{ボリューム}VOLUME 00～VOLUME 50の範囲で調節できます。
詳しくはページをご覧ください。

● 音量を一時的に下げる



表示窓に「ATT」が点滅表示されます。もう一度「ボン」と押すと、元の音量に戻ります。

- ・「ボン」と押す。

● 電源を「切」にする



ATT/ATT (電源) ボタンを 1 秒以上押します。表示窓に「SEE YOU」が表示され、電源が切れます。車のエンジンキーを「OFF」にしたときも同じです。

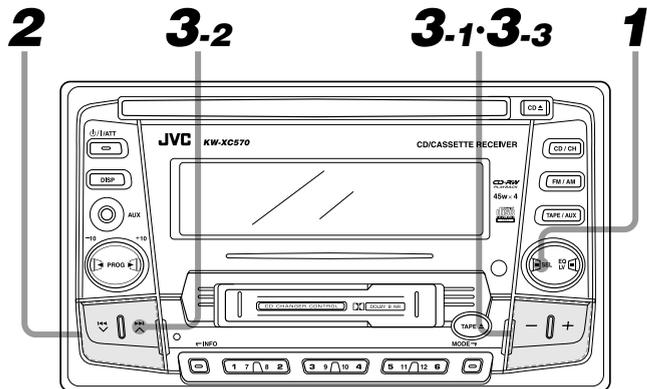
- ・ 1 秒以上押す。

〈お知らせ〉

- 電源を「切」にしてもソース(音源)は、メモリーされています。次に電源を入れたときは、聞いていたソース(音源)で演奏が始まります。
- 電源を「切」のときもCDやテープの出し入れができます。取り出すときは、**CD▲**(取出し)ボタンまたは**TAPE▲**(取出し)ボタンを押してください。**CD**を取り出すと電源が切れます。またテープの場合、カセットが出てきたのち電源が切れます。

時計の合わせかた

— 本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。 —



1 SELボタンを2秒以上押す



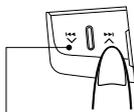
・2秒以上押す。



PSM が表示されます。

このあと選ばれているモードに表示が変わります。
お買い上げ時は「CLOCK HOUR」が表示されます。
→手順3の操作へ

2 次(または上)ボタンを「ポン・ポン」と押して「CLOCK HOUR」を選ぶ



逆に変えます。

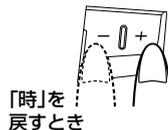


CLOCK HOUR

3 +、- (音量) ボタンと次ボタンで現在時刻に合わせる (時刻表示点滅中に操作します)

例：7時30分に合わせるとき(12時間表示方式です)

3-1 「時」を合わせる



「時」を戻すとき

「時」を進めるとき

「時」表示 「分」表示



1秒ごとに点滅



・調節中は文字表示部にCLOCK HOURが表示されます。

3-2 「CLOCK MIN」^{ミニッツ}を表示させる



「分」を戻すとき



「分」を進めるとき



・調節中は文字表示部にCLOCK MINが表示されます。

- ・時刻合わせが終わったあと、15秒で自動的に元のソース(音源)表示に戻ります。すぐに戻りたいときはSELボタンを「ポン」と押します。
- ・時刻を合わせ直すときも2~3の操作をします。
- ・本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- ・お買い上げ時は、電源「切」のとき時計が表示されないようになっています。表示されるようにすることもできます。→回ページ参照
- ・バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れると、設定した時刻は取り消されます。もう一度時刻合わせをしてください。

時計表示について

電源「切」のとき時計を表示させる

電源「切」のとき表示窓に時計を表示させることができます。また表示窓の背面照明やボタンの照明も「オン」のままになります。

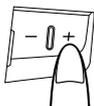
1 SELボタンを2秒以上押す



2秒以上押す。

2 (または) ボタンを「ボン・ボン」と押して「CLOCK DISP」を選ぶ

3 クロック +、- (音量) ボタンの+側を押して「CLOCK ON」または「CLOCK DEMO」にする



- ↑ CLOCK ON : 電源「切」のとき時計表示
- ↓ CLOCK DEMO : 電源「切」のとき時計とアニメ表示
- ↓ CLOCK OFF : 表示なし (お買い上げ時の状態)

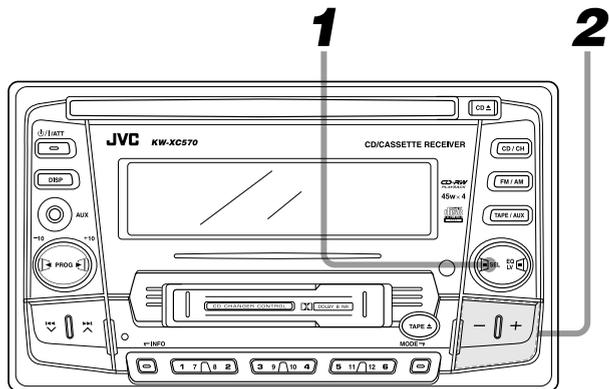
・ 一側を押すと逆に変わります。

- ・ 車のエンジンキーをオフにした場合、本機の電源が「切」にならない車種の場合は、「CLOCK ON」または「CLOCK DEMO」にしないでください。バッテリーを消耗する原因となります。
- ・  モード出力を車両のオートアンテナに接続しないでください。

4 SELボタンを押す

・ 元のソース (音源) 表示に戻ります。

音量・音質の調節



〈お知らせ〉

- ・フェーダー調節は4スピーカー接続のときのみ調節してください。

1 SELボタンを押して調節したいモードを選ぶ



・「ボン・ボン」と押すごとに表示窓に

FADER → BAL
↑ VOLUME ↓

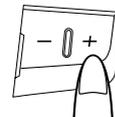
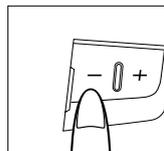
・「ボン」と押す。

と変わります。ただしVOLUME(音量)調節のみの場合、この操作は、必要ありません。直接+、-(音量)ボタンで調節できます。

5秒以内に

2 +、-(音量)ボタンを押して調節する

・調節したレベルが表示窓に表示されます。



| | | |
|------------------|---------------|---------------|
| VOLUME (音量) | 音量が下がる | 音量が上がる |
| FADER (フェーダー) | フロントの音量が下がる | リアの音量が下がる |
| BAL (バランス) | 右チャンネルの音量が下がる | 左チャンネルの音量が下がる |

- ・調節が終わってから5秒後に、表示窓は前の表示に戻ります。

● 初期設定状態と調節範囲

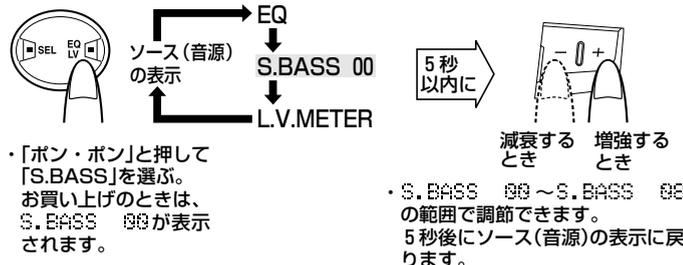
| | 初期設定 | 調節範囲 |
|--------------|----------|---|
| VOLUME(音量) | 15 | 00~50 |
| FADER(フェーダー) | 00(センター) | リア <small>リア</small> R06~フロント <small>フロント</small> F06 |
| BAL(バランス) | 00(センター) | レフト <small>レフト</small> L06~ライト <small>ライト</small> R06 |

● 音量調節について

CDの演奏は、無音状態での雑音がほとんどありません。気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがあります。電源を切る前に音量を下げたおき、演奏がスタートしてから適度な音量に合わせてください。

重低音を調節する

重低音を調節するときは、EQ/LVボタンを使います。



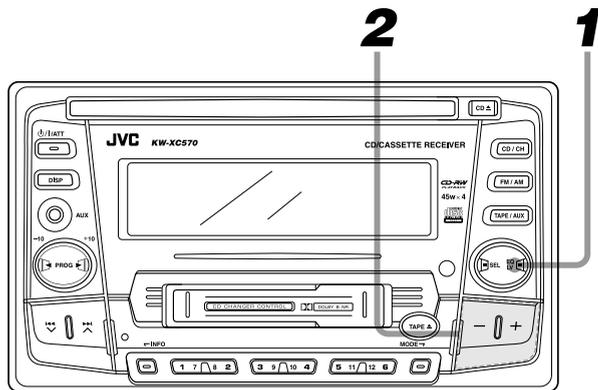
調節後、すぐに元の表示に戻りたいときは、EQ/LVボタンを「ボン・ボン」と2回押します。

〈お知らせ〉

- S.BASSのレベルは「EQ LINK ON」になると、ソース(音源)ごとに設定された内容に変わります。
- リセットの操作をすると調節したレベルは、お買い上げ時の状態に戻ります。

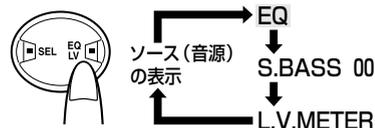
EQ*の使いかた

・本機には、あらかじめ9つのEQパターンがメモリーされています(これをメーカープリセットといいます)。



・メーカープリセットの呼び出し

1 EQ/LVボタンを押して「EQ」を選ぶ



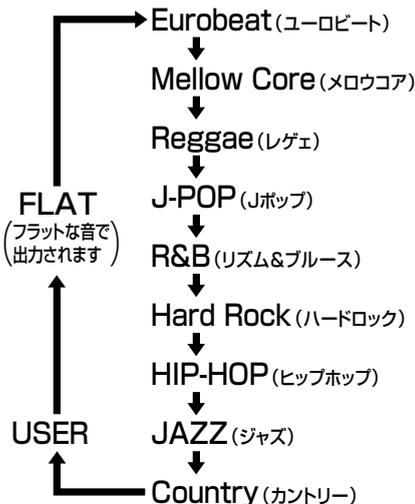
・「EQ」が表示され、設定されているEQパターン(お買い上げ時は「FLAT」)が表示されます。

2 +、-(音量)ボタンでEQパターンを選ぶ



逆にも選べます。

- ・5秒後にソース(音源)の表示に戻ります。EQ/LVボタンを3回押すと、すぐ戻ります。選んだEQパターンで聞くことができます。
- ・リモコン(別売り)場合、SOUNDボタンで直接EQパターンを選ぶことができます。



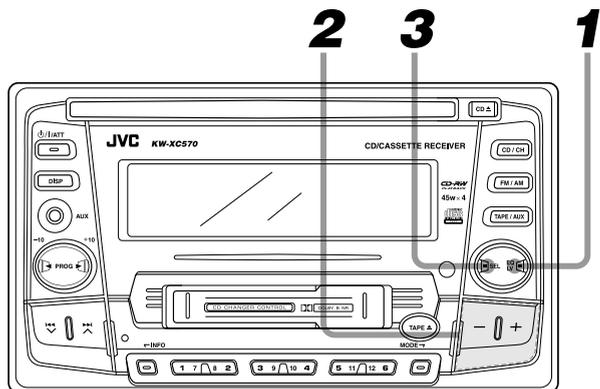
〈お知らせ〉

- ・Eurobeat~Countryには、ご自分で調節したEQパターンはメモリーできません。
- ・USERには、ご自分で調節したEQパターンがメモリーできます。
→23ページ参照
お買い上げ時はFLATと同じEQパターンになっています。またリセットの操作をすると調節した内容は、お買い上げ時の状態に戻ります。

*EQは：

Equalizer(イコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称。

EQパターンを調節する



●調節したEQパターンのメモリーについて

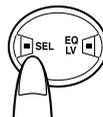
EQパターンの中心周波数やレベルを調節すると、自動的に「USER」にメモリーされます。

1 EQ/LVボタンを押して「EQ」を選ぶ

2 +、- (音量) ボタンでEQパターンを選ぶ
(→24ページ参照)

3 SELボタンで調節したい項目(中心周波数またはレベル)を選ぶ

・各操作は15秒以上間隔をあげないでください。



・押すごとに、各帯域の周波数またはレベルが選べます。

・SELボタンを押したあとズ(または)ボタンを押すと、

LOW FREQ

↓
MID FREQ

↓
HIGH FREQ

の切換えができます。

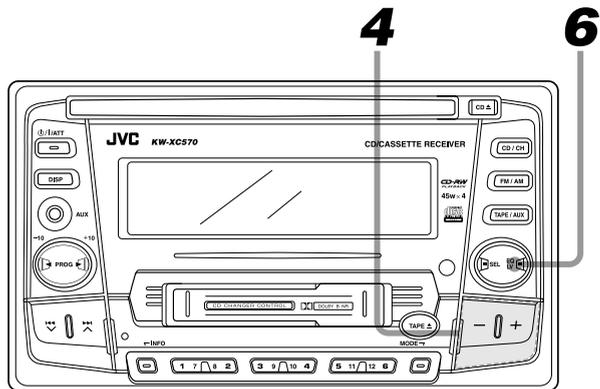


*FREQは：
FREQUENCY(フリケンシー)の略字。

24 ページへ続く

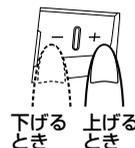
EQの使いかた(つづき)

EQパターンを調節する(つづき)



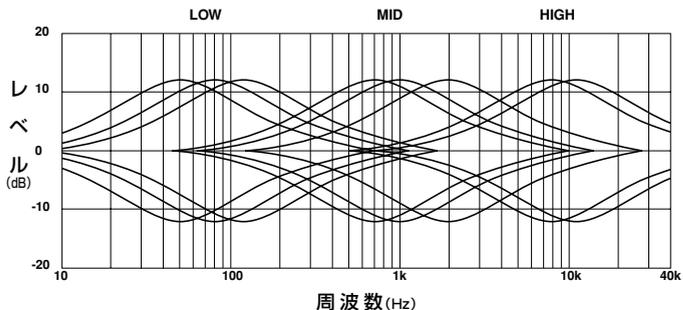
4 +、- (音量) ボタンで調節する

| | | |
|--------------|-------|-------------------|
| LOW (低域) | FREQ | 50Hz↔80Hz↔120Hz |
| | LEVEL | 0 ± 6 |
| MID (中域) | FREQ | 700Hz↔1 kHz↔2 kHz |
| | LEVEL | 0 ± 6 |
| HIGH (高域) | FREQ | 8 kHz↔12kHz |
| | LEVEL | 0 ± 6 |



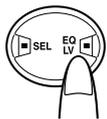
- 中心周波数は帯域ごとに選べます。そのあとレベルを調節します。調節した内容が表示窓に表示されます。
- レベルは± 2 dBずつ調節できます。

● EQパターンの各帯域ごとの変化特性図



5 手順3と4をくり返し、各帯域の項目(中心周波数およびレベル)を調節する

6 EQ/LVボタンを押す

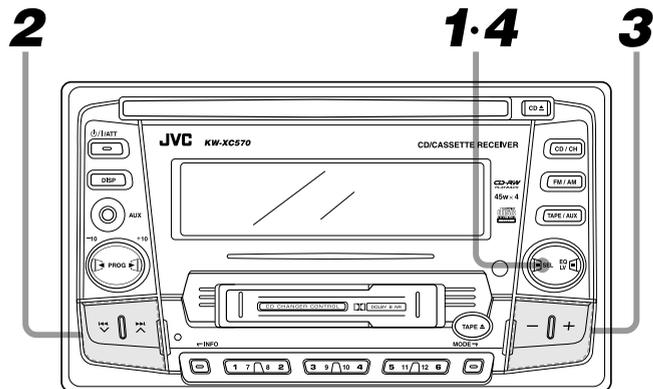


- ・「USER」にメモリーされ、ソース(音源)の表示に戻ります。
15秒間何もしなかったときも、ソース(音源)の表示に戻りメモリーされます。

EQ- LINK機能について

EQ- LINK機能について

EQ - LINK (イコライザーリンク) とは、各ソース (音源) ごとにEQおよびS.BASSを調節し本機にメモリーしておく機能のことです。お買い上げ時は、「EQ LINK OFF」に設定されており各ソース (音源) と同じEQおよびS.BASSの内容になります。

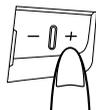


● EQ-LINK機能を「オン」にする

1 SELボタンを2秒以上押す

2 次(または ∇)ボタンを「ポン・ポン」と押して「EQ LINK」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンの+側を押して「EQ LINK ON」にする



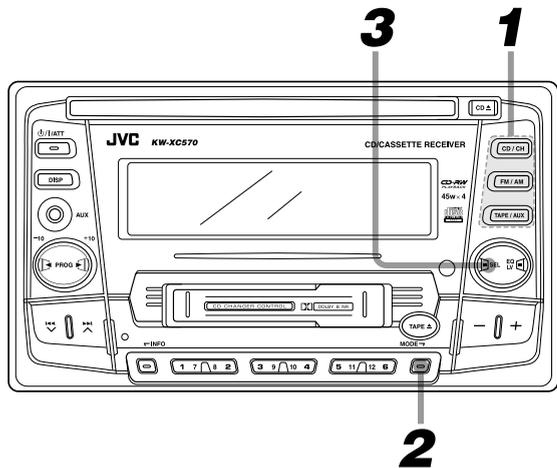
- ・「オン」になると各ソース (音源) ごとにEQおよびS.BASSをプリセットすることができます。お買い上げ時は、各ソース (音源) と同じEQ: FLAT、S.BASS: 0 0 になっています。
- ・「EQ LINK OFF」に戻すときは、+、- (音量) ボタンの一側を押します。

4 SELボタンを押す

- ・元のソース (音源) 表示に戻ります。

MODEボタンの使いかた

— 番号順に操作します。 —

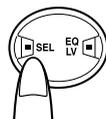


2 MODEボタンを押して使いたいモードを選ぶ

・ 押すごとに変わります。

| ラジオ (FM/AM) | CD/CD-CH | TAPE |
|---------------------|-------------------|-------------------|
| <p>バンドと受信周波数の表示</p> | <p>ソース(音源)の表示</p> | <p>ソース(音源)の表示</p> |

3 SELボタンで設定する



・ 押すごとに各モードの「ON⇄OFF」が選べます。

- 入力のチャンネル
・ SSM → 37 ページ参照
- スキャン
・ SCAN → 36 ページ参照
- モノ
・ MONO → 37 ページ参照
- リピート
・ REPEAT
- ランダム
・ RANDOM → 30, 41 ページ参照
- イントロ
・ INTRO
- ドルビー B
・ DOLBY B
- トラック スキップ
・ B.SKIP → 33 ページ参照
- ・ REPEAT

1 各ボタンを押してソース(音源)を選ぶ

・ ラジオまたはTAPE、CD/CD-CHのいずれかを選びます。またはテープかCDを入れます。
(「AUX」および「EXT」のときは、MODEボタンが働きません)

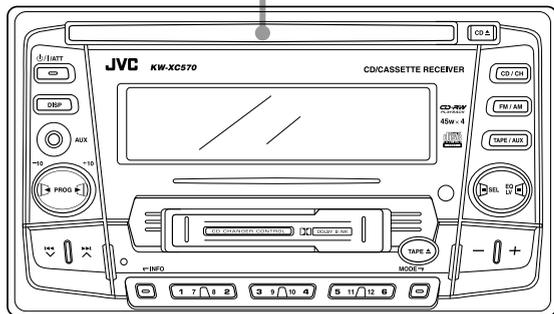
〈お知らせ〉

- 手順2でモードを選んだら5秒以内にSELボタンを押してください。

CDを聞く

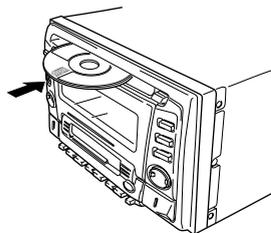
— 番号順に操作します。 —

1



● 8センチCDの入れかた

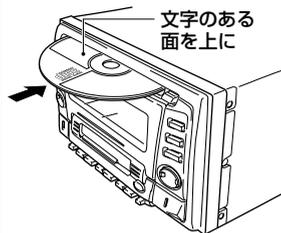
8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れます。



● CDを入ると…

ソース(音源)は、自動的に「CD」になりCD表示と④が表示され演奏がスタートします。またCD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。

1 CDを入れる (電源が入り、演奏がスタートします)

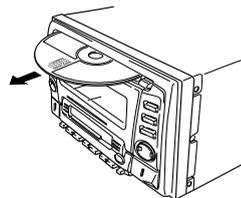


01 00' 05"

- ・ソース(音源)が「CD」になりPLAY表示が曲数と演奏時間変わったあと、1曲目から演奏が始まります。
- ・CDが入っていることを表す④が表示されます。

● CDを取り出すときは

CD▲(取出し)ボタンを押します。「EJECT」が表示され、CDが出てきたのちCDを入れる前のソース(音源)に戻ります。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。この場合、CDを取り出すと電源が切れます。



(演奏中だったCDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動的に中に引き込まれます)

〈お知らせ〉

- 文字のある面に  または    のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置しないでください。
- MP3には対応しておりません。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- 本機は半角の英数字に限り対応しております。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

CDテキストについて

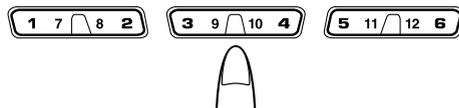


「CDテキスト」は、今までの音楽CDにアルバムタイトルや曲名、アーティスト名などの文字情報を追加した、音楽CDの機能です。

本機にCDテキスト対応のCDを演奏するとアルバムファセットや数字で「CDテキスト」データを表示します。DISPボタンを押すと表示が変わります。

ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。
例：11曲目のとき

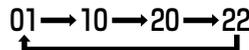
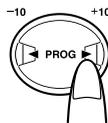


・ 1秒以上押す。

-  ボタンの使いかた

前後10曲ずつ頭出しができます。

例：22曲入りCDのとき



- +10側を押したときは、このような頭出しができます。一側を押すと逆に選べます。

CDを聞く(つづき)

1 曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



- ・「REPEAT」を表示させる。もう一度SELボタンを押すと、解除されます。

・表示窓に「RPT」が表示されます。

ランダム演奏

演奏中のCDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。

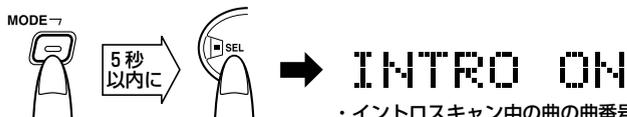


- ・MODEボタンを2回押して「RANDOM」を表示させる。もう一度SELボタンを押すと、解除されます。

・表示窓に「RND」が表示されます。

イントロスキャン

イントロスキャン中は、曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキャンを解除します。



- ・MODEボタンを3回押して「INTRO」を表示させる。もう一度SELボタンを押すと、解除されます。

・イントロスキャン中の曲の曲番号が点滅します。聞きたい曲が見つかったら◀ボタンを押します。その曲の頭から演奏されます。

スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞く



- ・▶ボタンを「ボン」と1回押すごとに次の曲、次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

●演奏中に前の曲を聞く



- ・◀ボタンを「ボン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

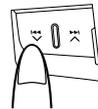
- ・演奏中のCDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。

●早送り



▶ボタンを押し続ける

●早戻し

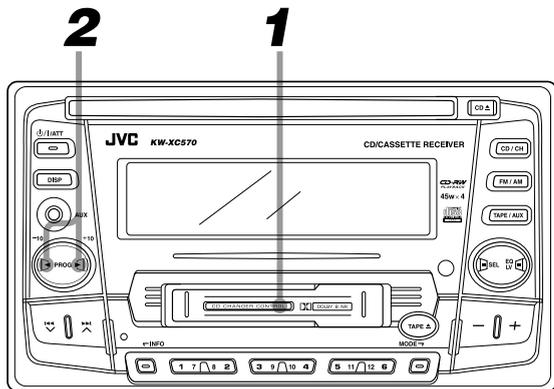


◀ボタンを押し続ける

サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すと普通の演奏に戻ります。

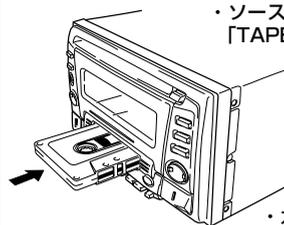
テープを聞く

— 番号順に操作します。 —



1 カセットを入れる⇒電源が入ります (上の面から自動で再生スタート)

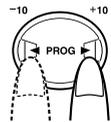
- ・ノーマルテープタイプ(TYPE I)専用です。
- ・ソース(音源)は「テープ」になります。表示窓に「TAPE」と再生方向が表示されます。



➔ **FWD PLAY**
フォワード方向の再生の表示

- ・カセットを入れるとが表示されます。

2 ◀PROG▶ボタンを押して聞きたい面に合わせ る



- ・上の面(フォワード方向)の再生 :

FWD PLAY

- ・下の面(リバース方向)の再生 :

REV PLAY

- ・どちらを押しても選べます。

使えるカセットテープは

本機はノーマルテープタイプ(TYPE I)専用です。
ハイポジションテープタイプ(TYPE II)やメタルテープタイプ(TYPE IV)は、音質が変わりますのでお勧めできません。

| | | 再 生 |
|------------|-----------|-----|
| ノーマルテープ | (TYPE I) | ○ |
| ハイポジションテープ | (TYPE II) | × |
| メタルテープ | (TYPE IV) | × |

キーオフリリース/キーオンプレイ機構について

本機はテープ再生中にエンジンキーを「OFF」にすると、キーオフリリース機構により自動的にヘッドをテープから離してメカニズムを待機状態にします。
再びエンジンキーを「ON」にすると自動的にテープ再生になります。

テープを聞く(つづき)

ミュージックスキャン(MS)の使いかた

ミュージックスキャンとは、曲と曲の間の録音されていないあき(ブランク)を検出して頭出しをする機能です。

前後9曲までの曲を飛び越して再生することができます。

操作手順 例：上の面の3曲を飛び越すとき

1 テープを入れ、▶▶ボタンを「ポン・ポン」と3回押す



MS +3

・3曲進むときの操作です。

(3曲戻すときは、テープを入れたあと◀◀ボタンを3回押します)

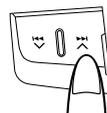
自動選曲の状態になります。

2 頭出しができるると再生が始まります

●頭出しの途中でテープが終わると

巻戻しで巻き始めまで戻ったときは、その面の頭から再生状態になります。早送りで巻き終わりまで行くと反転し、反転した面の巻き始めから再生状態になります。

テープを早送りしたり巻戻す



●テープを巻戻すとき◀◀ボタンを1秒以上押す。表示窓に「REW」が表示され、巻き始めまで戻るとその面の再生を始めます。

●テープを早送りするとき▶▶ボタンを1秒以上押す。表示窓に「FF」が表示され、巻き終わりまで早送りすると反転してその面の巻き始めから再生します。

〈お知らせ〉

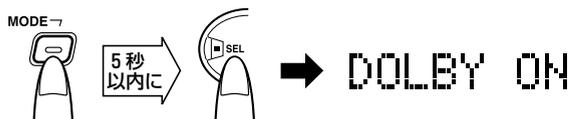
●動作の途中で再生状態にしたいときは、◀PORG▶ボタンを「ポン」と押します。

ご注意

- クラシック音楽などで音が非常に小さい部分が長く続く曲や曲と曲の間が短すぎたり、雑音が録音されているとミュージックスキャンやブランクスキップが正常に動作しないことがあります。ブランクが4秒以上あるテープを使ってください。
- ミュージックスキャンの機能は、テープを取り出すと取り消されますが、ブランクスキップの機能は残ります。

ドルビーB NR*方式で録音されたテープを聞く

テープのヒスノイズ(サーという雑音)の少ない再生ができます。



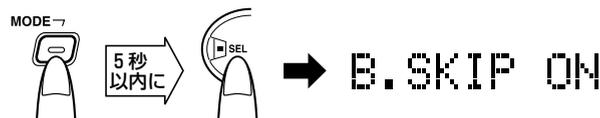
・「DOLBY B」を表示させる。

・表示窓に「DOLBY」が表示されます。もう一度SELボタンを押すと「DOLBY OFF」になり解除されます。

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DolbyおよびダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズの商標です。

ブランクスキップの使いかた

ブランクスキップは、曲の終わりの15秒以上のあき(ブランク)を早送りしたいとき使います。

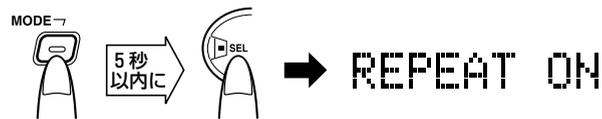


・2回押して「B.SKIP」を表示させる。

・表示窓に「B.SKIP」が表示され、再生中に15秒以上のブランクが続くと、自動的に早送り選曲になります。もう一度SELボタンを押すと解除されます。

くり返して聞く (1曲リピート)

再生中の1曲をくり返して聞くことができます。



・3回押して「REPEAT」を表示させる。

・表示窓に「RPT」が表示され、再生中の曲がくり返し再生になります。もう一度SELボタンを押すと解除されます。テープを取り出したり、ソース(音源)を切換えたときも解除されます。

テープを聞く(つづき)

テープを取り出すには



TAPE▲(取出し)ボタンを押します。テープを入れる前のソース(音源)になります。本機はエンジンキーが「OFF」のときでもテープが入っていれば、TAPE▲(取出し)ボタンでテープが取り出せます。この場合、テープが出てくると自動で電源が切れます。

ラジオやCDなどを聞いているときテープ再生に切替える



本機にテープが入っているときは、TAPE/AUXボタンを押すだけでテープ再生に切替えることができます。また電源が切れているときも、テープ再生にすることができます。

ヘッド部の清掃

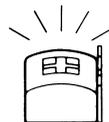
ヘッドは音をひろいだす大切な部分です。

ヘッドが汚れると

- 音質が悪い。
- 音が小さい。
- 音がとぎれる。

などの症状がでます。

症状がでてくる前に(およそ10時間使うごと)に、別売りのオートヘッドクリーナー「CK-6型」を使ってヘッド部を清掃してください。詳しくはオートヘッドクリーナーの説明書を参照してください。

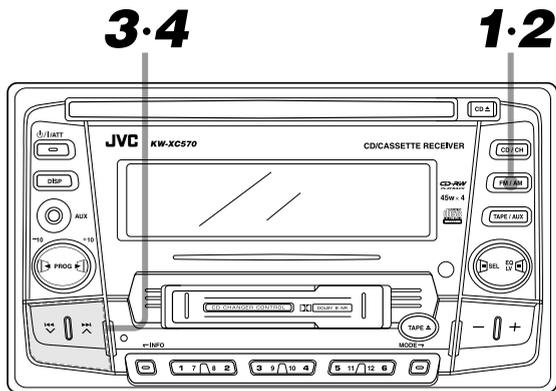


ラジオを聞く

— 番号順に操作します。 —

マニュアル選局

電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときに使います。



● マニュアル選局のモードは…

選局の操作から5秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。シーク選局(➡36ページ参照)のモードになります。

1 FM/AMボタンを押してソース(音源)を「ラジオ」にする



・表示窓にバンドと周波数が表示されます。
お買い上げ時は、FM1 76.0が表示されます。

2 FM/AMボタンでバンドを選ぶ



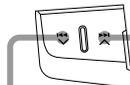
・押すごとに
FM1 → FM2
↑ ↓
AM2 ← AM1
と変わります。
・AM放送はモノラル受信です。

3 選局ボタン(または)を1秒以上押してマニュアル選局のモードにする



・選局ボタン(または)を1秒以上押して表示窓に「M」を点滅させます。

4 選局ボタン(または)で放送局に合わせる



周波数が
下がる

周波数が
上がる

| | 受信周波数 |
|------|-----------------|
| FM放送 | 76.0MHz~90.0MHz |
| AM放送 | 522kHz~1,629kHz |

・1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

ラジオを聞く(つづき) — 番号順に操作します。 —

プリセット選局

本機は、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な放送局の呼び出しができます。

- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタン  にメモリーするには…

1 FM/AMボタンで「FM1」を選ぶ → FM1

2 選局ボタン( または )で希望の放送局に合わせる

3 プリセットボタンの  を2秒以上押す



・2秒以上押す。押したボタンと同じ数字が点滅するとメモリーされます。

- ・バンドごとに6局ずつメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

ご注意

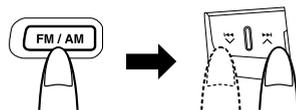
- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れるとメモリーした局や時刻の設定は、すべて取り消されます。このようなときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

シーク選局(自動選局)

「M」が表示窓に表示されていないときは、選局ボタン( または )を「ボン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。これをシーク選局(自動選局)といいます。

希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

例：FM放送のとき



- ・FM1またはFM2を選ぶ。

「ボン」と押して離す。

・表示窓に「SEEK」が表示され、周波数表示が変化します。放送局が見つかったと、選局が自動停止します。

スキャン選局



- ・MODEボタンを2回押して「SCAN」を表示させる。

MODEボタンを2回押すと、「SCAN」が表示されSELボタンを押すと、自動的に周波数が高い方に移動して放送局を探します。放送を受信するごとに表示の周波数が点滅し、約5秒間モニターしていきます。

聞きたい放送局のところでもう一度、MODEボタンを押すとスキャン選局を停止し、その放送を継続して聞くことができます。

SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

チューナーが自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。

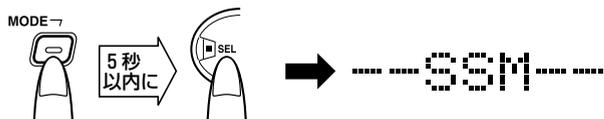
旅行先などで放送局を探すときに便利です。

●操作例：FM 1 にメモリーするとき

1 FM/AMボタンでバンドを選ぶ(FM 1 にする)



2 MODEボタン→SELボタンを押す



- ・「SSM」を表示させる。
- ・チューナーが放送局を探し、自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に、プリセットボタンの(17)～(12)にメモリーしていきます(前のメモリー内容は取り消されます)。

3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

- ・プリセットボタン(17)～(12)を押して聞きたい放送局を選びます。(放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります)

FM放送が雑音で聞きにくいときは



- ・MODEボタンを3回押して「MONO」を表示させる。

FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いとき、FM放送の受信モードを切換えます。表示窓に「MONO ON」が表示されモノラル受信モードになり、聞きやすくなります。表示窓に「MO」が表示されます。

電波状態が良好になったらもう一度同じ操作で「MONO OFF」に切換え、「ST」表示に戻してお使いください。

アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、**オートアンテナ** コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。“CDチェンジャー”や“CD”、“TAPE”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(**オートアンテナ**)の最大コントロール電流は250mAです)

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く



高速道路などの特定地域では、AM1,620kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでINFOボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1,620kHzが受信できます。

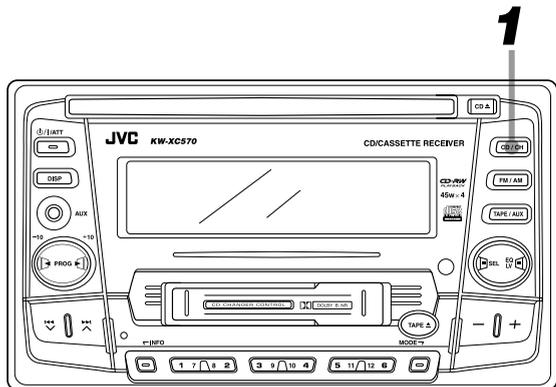
INFO 1620

- INFOボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合にのみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中にINFOボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がINFOボタンにメモリーされます。
- 電源を入れることもできます。

CDチェンジャーのCDを聞く

— 番号順に操作します。—

全曲演奏 — CDチェンジャー内のマガジンにはあらかじめCDを入れておいてください。—



1 CD/CHボタンを2回押してソース(音源)を「CD-CH」にする→演奏が始まります



01 00' 05"

曲番号 演奏経過時間

CD* ↔ CD-CH

*本機にCDが入っているとき

・CDチェンジャーを演奏中に電源を切ったときは、電源が入ると、止まったときの曲から自動的に演奏が始まります。

●最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のCDの演奏が始まります(全マガジン内のCDのくり返し演奏になります)。

●演奏を途中でやめる

FM/AMまたはTAPE/AUXボタンを押して他のソース(音源)に切換えます。

●CD/CHボタンを押しても「CDチェンジャー」に切り換えができないときは…

CD-CHのソース(音源)を「LINE INPUT」から「CDチェンジャー」のモードに変えます。→49ページ参照

CD演奏中の表示内容を変える



・押しごとに変わります。

曲番号と演奏経過時間の表示

ディスク番号と曲番号表示 (CDチェンジャー)のときのみ

NO NAME*1

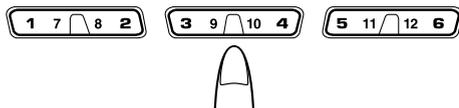
*1 CD TEXTのディスク名の表示、曲名の表示に対応しているCDチェンジャーは発売しておりません。

ラジオを聞く(つづき)・CDチェンジャーのCDを聞く

CDチェンジャーのCDを聞く(つづき)

CDダイレクト選択ボタンの使いかた

聞きたいCDが分かっているときは、CDダイレクト選択ボタンを使うと便利です。CDが選ばれると、選んだCDの1曲目から演奏が始まります。



聞きたいCDが入っているディスクトレイの番号に合わせてボタンを押します。(マガジンの下から順に1・2・3…となっています)

- ・ 1～6枚目を選ぶときは：大きく表示されている番号のボタンを「ボン」と押します。

例：2枚目のとき



- ・ 7～12枚目を選ぶときは：小さく表示されている番号のボタンを1秒以上押します。

例：10枚目のとき



- ・ 1秒以上押す。

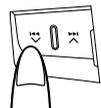
スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞く



- ・ 次ボタンを「ボン」と1回押すごとに次の曲の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

●演奏中に前の曲を聞く

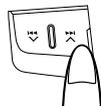


- ・ 前ボタンを「ボン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- ・ 演奏中の曲の途中の位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。

●早送り



次ボタンを押し続ける

●早戻し



前ボタンを押し続ける

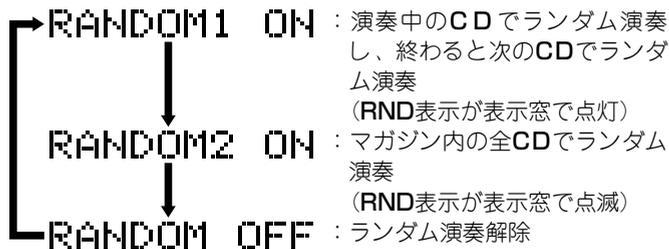
サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すとふつうの演奏に戻ります。

ランダム演奏

- CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- MODEボタンを2回押して「RANDOM」を表示させる。
- SELボタンを押すごとに次のように動作します。

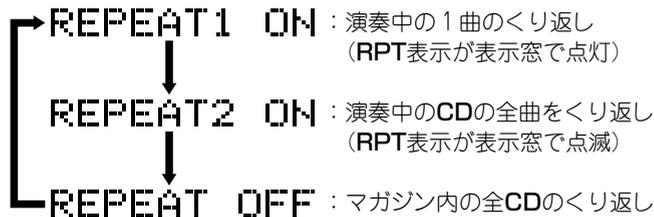


リピート演奏(くり返し演奏)

- 演奏中の曲をくり返して聞くことができます。

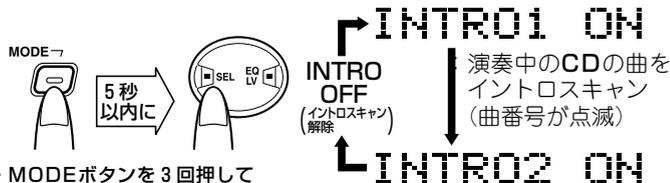


- 「REPEAT」を表示させる。
- SELボタンを押すごとに次のように動作します。



イントロスキャン

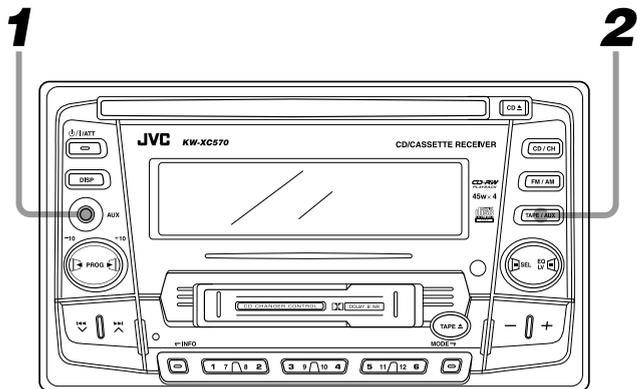
- 聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏します。聞きたい曲またはCDが見つかったら♡ボタンを押します。



- MODEボタンを3回押して「INTRO」を表示させる。
- SELボタンを押すごとに次のように動作します。

他の機器の音を聞く

— 番号順に操作します。 —



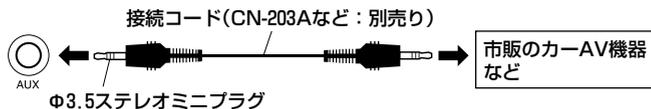
〈お知らせ〉

●他の機器の音が小さいときは

SELボタンで「AUX ADJ」を選ぶと、AUX端子の入力感度を変えることができます。➡43ページ参照

- 他の機器(RCAの2チャンネル出力端子付)は、変換コード：KS-U57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子に接続することができます。43ページを参照し、CD-CHのソース(音源)を「LINE INPUT」に変えてからお使いください。「CD-CH」表示が「LINE INPUT」表示に変わります。すでにCDチェンジャーが接続されている場合は、ご利用になれません。

1 他の機器をAUX端子に接続する



2 TAPE/AUXボタンを2回押してソース(音源)を「AUX」にする



*本機にテープが入っているとき

・「AUX」を選ぶと、表示窓は「AUX INPUT」に変わります。この表示を接続した機器の名称(TVやDVDなど)に変えることができます。
➡44ページ参照

3 接続した機器を演奏状態にする

・接続した機器に音量調節があるときは、MDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

AUX端子の入力感度を調節する

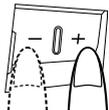
AUX端子に接続した他の機器の音が小さすぎるときは、入力感度を調節します。

1 SELボタンを2秒以上押す

2  (または ) ボタンを「ボン・ボン」と押して「AUX ADJ」を選ぶ

・2秒後に「A. ADJ 00」に変わります。

3 +、- (音量) ボタンでAUXの入力感度を調節する



入力感度を
下げるとき

入力感度を
上げるとき

・調節範囲は
A. ADJ 00~05です。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

CD-CHのソース(音源)を変更する

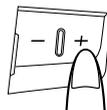
CDチェンジャー端子に他のカーAV機器を接続したときは、CD-CHのソース(音源)を「LINE INPUT」に変えます。

1 ソース(音源)を「ラジオ」にする

2 SELボタンを2秒以上押す

3  (または ) ボタンを「ボン・ボン」と押して「EXT INPUT」を選ぶ

4 +、- (音量) ボタンの+側で「LINE INPUT」にする



CD CHANGER : CDチェンジャーをつないだとき

↓
LINE INPUT : 他のカーAV機器をCDチェンジャー端子につないだとき

・一側を押すと「CD CHANGER」に
戻せます。

5 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

＜お知らせ＞

- ・ソース(音源)が「CDチェンジャー」のときは、手順**3**のとき「EXT INPUT」になりません。

放送局名を表示させる

放送局名を自動で表示させる

本機をご利用になる地域の放送局を受信したときは、自動で放送局名を表示させることができます。

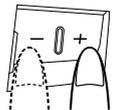
放送局名と表示名は、[64](#)～[68](#)ページをご覧ください。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 (または) ボタンを「ボン・ボン」と押して「Station Set」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンを押してご利用の地域を選ぶ

関東地方を選んだときの表示



ホッカイド ↔ トウホク ↔ **カントウ** ↔ チュウブ

エリア ナシ

キンキ

オキナワ ↔ キュウシュウ ↔ シココ ↔ チュウゴク

・お買い上げのときは「エリア ナシ」になっています。

4 SELボタンを押す

・放送局名が表示されるようになります。

表示の概要

放送局名を表示することができます。

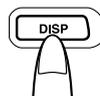
| ソース(音源) | 表示する名前 | 文字数 |
|---------|--------|------------------------------|
| ラジオ | 放送局名 | 32局分を最大10文字ずつ(自動で表示するときは含まず) |

〈お知らせ〉

- ・自動表示の放送局名を変更すると、メモリー数は32局より減ります。

放送局名を表示させる

ラジオを聞いているとき、放送局名を表示させるにはDISPボタンを使います。「放送局名を自動で表示させる」のあとで操作します。



バンドと受信周波数表示

放送局名表示*

*スクロール表示されません。

・押すごとに変わります。

文字入力のしかた

文字の入力のしかた(修正・削除)

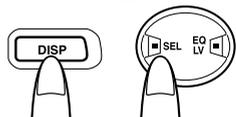
文字を入力したいときは、次の手順で入力します。入力した文字を修正(削除)するときも同じ操作になります。ラジオは32局分を最大10文字まで入力できます。またAUXは最大10文字まで入力できます。

1 FM/AMまたはTAPE/AUXボタンを押してソース(音源)を選ぶ

・ラジオまたはAUXにします。

2 DISPを押したままSELボタンを同時に2秒以上押す

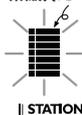
例：ラジオを選んだとき



・押したまま…

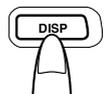


点滅(カーソルといいます)



30秒以内に

3 DISPボタンで文字の種類を選ぶ



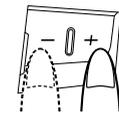
・押すごとに変わります。

カナ → 英大文字 → 英小文字 → 数字・記号

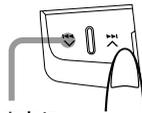
カーソルが文字の種類と交互に点滅します。このときカーソルだけ移動するには、**+**ボタンを押します。

詳しくは44ページの「文字配列表」参照

4 +、- (音量)ボタン → **+**ボタンで局名を入力する



逆方向 文字を順方向
に戻す に進める



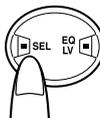
カーソルを左に
移すとき押す

①文字を選び…

②カーソルを右に移す。文字が確定します。

- ・文字を間違えたときは、**+**ボタンでカーソルを戻し+、- (音量)ボタンで正しい文字を上書きします。
- ・「AUX INPUT」表示を接続した機器の名称に変更するときは、上書きします。

5 SELボタンを押して確定する



- ・文字を消したいときは、4の操作のとき空白(スペース)を選び確定します。
- ・全て空白(スペース)を入力すると、局名を消すことができます。またDISPボタンを1秒以上押したときも表示を消すことができます。SELボタンを押して確定すると局名を消すことができます。

〈お知らせ〉

- ・33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。使用しない局名は消してください。

文字配列表

●カナ

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|------|---|---|---|---|---|---|
| ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | ケ | コ |
| サ | シ | ス | セ | ソ | タ | チ | ツ | テ | ト |
| ナ | ニ | ヌ | ネ | ノ | ハ | ヒ | フ | ヘ | ホ |
| マ | ミ | ム | メ | モ | ヤ | ユ | ヨ | | |
| ラ | リ | ル | レ | ロ | ワ | ヲ | ン | | |
| ア | イ | ウ | エ | オ | ヤ | ユ | ヨ | ツ | |
| ー | 。 | ゝ | (空白) | | | | | | |

●英大文字

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|------|---|---|---|
| A | B | C | D | E | F | G | H | I | J |
| K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T |
| U | V | W | X | Y | Z | (空白) | | | |

●英小文字

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|------|---|---|---|
| a | b | c | d | e | f | g | h | i | j |
| k | l | m | n | o | p | q | r | s | t |
| u | v | w | x | y | z | (空白) | | | |

●数字・記号

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|----|------|---|---|---|---|---|
| 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| ! | ” | # | \$ | % | ’ | (|) | * | |
| + | , | — | . | / | : | ; | < | = | > |
| ? | @ | — | ` | (空白) | | | | | |

〈お知らせ〉

46 ●放送局名の中で・(中黒)と α (アルファ)は、入力できません。

CDタイトルのスクロール表示のモードを変える

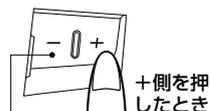
スクロール表示のモードを変える

CDタイトルのディスク名または曲名を切換えたと、1回スクロール表示されます。スクロール表示のモードは変えることができます。(放送局名は、スクロール表示されません)

1 SELボタンを2秒以上押す

2  (または ) ボタンを「ポン・ポン」と押して「SCROLL」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンを押してスクロールのモードを選ぶ



＋側を押したとき

・－側を押すと逆に選べます。

↑ SCRL ONCE : 名前の表示切換え時に
1回スクロール
(お買い上げ時の状態)

↓ SCRL AUTO : スクロールをくり返す

↓ SCRL OFF : DISPボタンを1秒以上押したときだけスクロール

4 SELボタンを押す

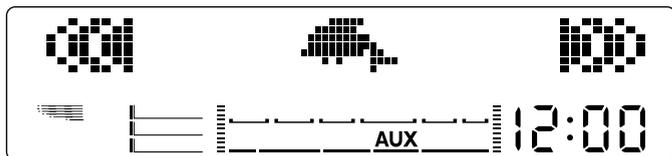
・元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓のモードを変える

●表示窓のデモ表示について

本機は、一定時間*無音状態が続くと、自動で以下のようなデモ表示を行います。(お買い上げ時の状態)

デモ表示の例



*一定時間とは：

- 初めて電源を入れたときは15秒間
- リセットボタンを押してリセットしたときは15秒間
(CDが入っていないとき、FM/AMボタンを押して再度電源を入れたとき)
- 入力信号のない状態(ソースを「AUX」にしているときなど)が3分以上続いたとき

デモ表示を出なくするには、右の説明の「表示窓のデモモードの解除」をご覧ください。

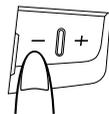
表示窓のデモモードの解除/設定

表示窓のデモ表示を出なくすることができます(デモモード解除)。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 次(または Ψ)ボタンを「ポン・ポン」と押して「DEMO」を選ぶ

3 +、-(音量)ボタンの一側を押して「DEMO OFF」にする



「OFF」にするとき

・「DEMO OFF」にすると、デモ表示を出なくすることができます。
通常は、「DEMO OFF」で使用することをお勧めします。

(デモモードを再設定するときは、+、-ボタンの+側を押して「DEMO ON」にします)

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓の明るさ／コントラストを変える

— 番号順に操作します。 —

表示窓の明るさを変える

1 SELボタンを2秒以上押す

2 Δ (または ∇)ボタンを「ボン・ボン」と押して
「DIMMER」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンでディマーのモードを選ぶ



+側を押し
たとき

・一側を押すと逆に
選べます。

オート DIM AUTO : 車のイルミネーションと連動(お買い上げ時の状態)
(車両のライトを「ON」にすると、
表示窓とボタンの照明の明るさも下がります)
あらかじめイルミネーションコードを車両側のイルミ電源に接続しておきます。

DIM OFF : ディマー「オフ」
(表示窓とボタンの照明の明るさは変わりません)

DIM ON : 常時ディマー「オン」
(表示窓とボタンの照明の明るさが下がります)

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

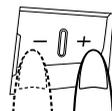
表示窓のコントラストの調節

表示窓の文字表示部が見えにくいときには、コントラストを調節します。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 Δ (または ∇)ボタンを「ボン・ボン」と押して
「CONTRAST」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンでコントラストを調節する



下げる
とき

上げる
とき

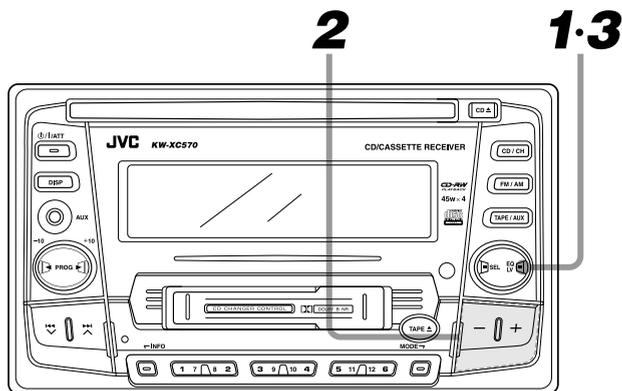
- ・「CONTRAST 1～10」までの範囲で調節できます。運転席から表示窓を見て、見やすくなるように設定します。
- ・お買い上げ時は、「CONTRAST 5」になっています。

4 SELボタンを押す

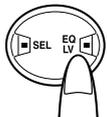
・元のソース(音源)表示に戻ります。

レベルメーターの表示切換

レベルメーターの表示をお好みの状態に変えることができます。



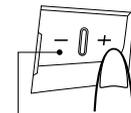
1 EQ/LVボタンを3回押して「L.V.METER」を選ぶ



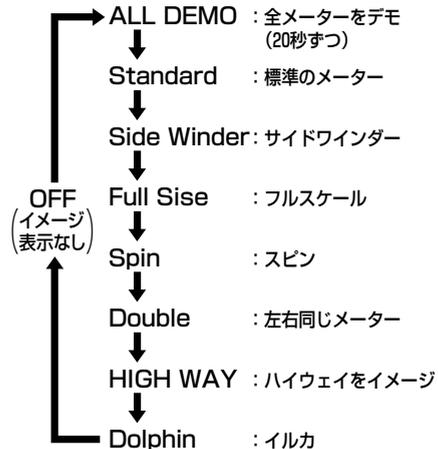
L.V.METER

・ 2秒後に「ALL DEMO」表示に変わります。

2 +、- (音量) ボタンで好きなレベルメーターを選ぶ



逆に選べます。



3 EQ/LVボタンを押す

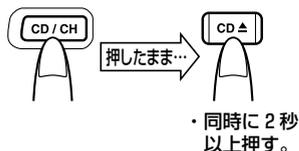
・ 元のソース (音源) 表示に戻ります。

EQ/LVボタンを15秒以内に押さないときは、自動で戻ります。

CD/テープの盗難防止

本機に入れたCDやテープを、他の人が取り出せなくすることができます。

CDの場合



- ・「CD」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。
- ・もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されCDの取り出しができます。

テープの場合



- ・「TAPE」が点滅表示され、テープの取り出しができなくなります。
- ・もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されテープの取り出しができます。

〈お知らせ〉

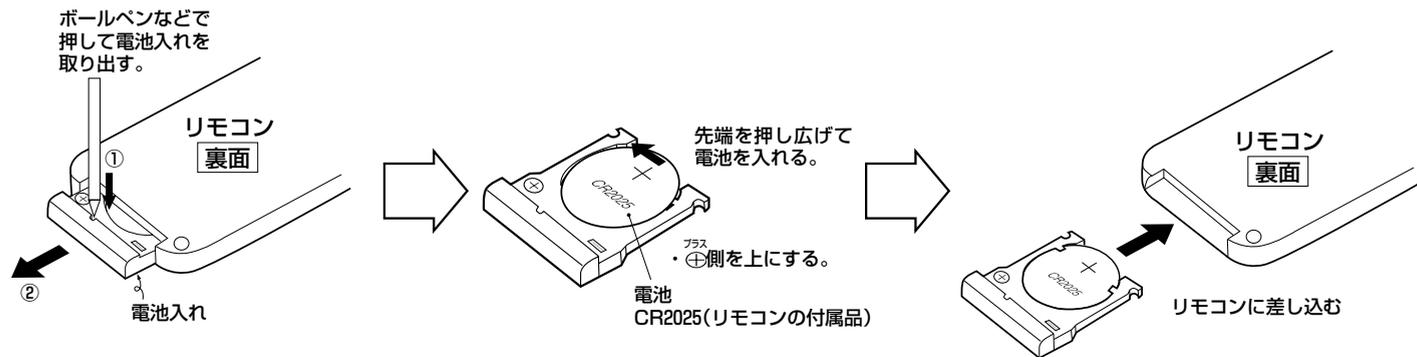
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

リモコン(別売り: RM-RK41)の使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください(動作しないことがあります)。
- リモコンに付属の電池は動作確認用です。早目に新しい電池(CR2025:市販品)と交換してください。

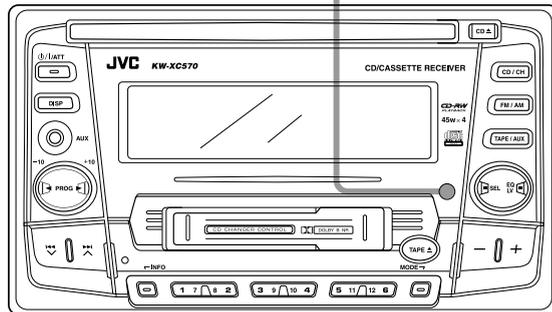
電池の入れかた



● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。使用済み電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

リモコン受光部



各部の名前と働き

電源/ATTボタン

電源の「入」↔「切」ができます。電源を「切」にするときは、1秒以上押します。

電源「入」のとき「ボン」と押すと音量を一時的に下げることができます。

DISC+/BANDボタン

- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。
- ・TAPEのとき：テープの走行方向が選べます。

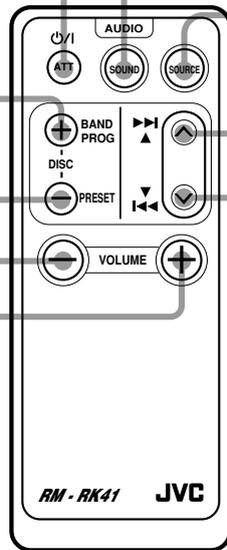
DISC-/PRESETボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局（1ch～6ch）の選局ができます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。

VOLUME+、-（音量）ボタン

音量の調節ができます。

- ・+：音量が上がります。
- ・-：音量下がります。



SOUNDボタン

聞きたい音楽に合わせてEQパターンを選びます。

SOURCEボタン

ソース（音源）を選ぶとき使います。押すごとに

ラジオ → CD → TAPE → CDチェンジャー (LINE IN)
↑ ↓
AUX

と変わります。ただし本体にCDやテープが入ってなかったりCDチェンジャーが接続されていないときはラジオ↔AUXになります。

▲、▼ボタン

- ・「ラジオ」のとき：選局（自動選局）ができます。
- ・「CD」と「CDチェンジャー」のとき：曲の頭出しや早送り、早戻しができます。
- ・テープのとき：早送り、巻戻しができます。（▲と▼の機能はありません）

放送局名一覽

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|---------|-----------|-----------|----------|----------|
| 北海道(FM) | AIR-G' | AIR-G' | 札幌 | 80.4MHz |
| | FMノースウェーブ | FMノースウェーブ | 〃 | 82.5MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 〃 | 85.2MHz |
| | 〃 | 〃 | 旭川 | 85.8MHz |
| | 〃 | 〃 | 北見 | 86.0MHz |
| | 〃 | 〃 | 函館 | 87.0MHz |
| 北海道(AM) | NHK第1 | NHKダイ1 | 札幌 | 567kHz |
| | 〃 | 〃 | 釧路 | 585kHz |
| | 〃 | 〃 | 帯広 | 603kHz |
| | 〃 | 〃 | 旭川 | 621kHz |
| | STVラジオ | STVラジオ | 函館 | 639kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 〃 | 675kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 北見 | 702kHz |
| | 〃 | 〃 | 札幌 | 747kHz |
| | HBCラジオ | HBCラジオ | 旭川 | 864kHz |
| | 〃 | 〃 | 室蘭 | 864kHz |
| | STVラジオ | STVラジオ | 釧路 | 882kHz |
| | HBCラジオ | HBCラジオ | 函館 | 900kHz |
| | STVラジオ | STVラジオ | 網走 | 909kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 室蘭 | 945kHz |
| STVラジオ | STVラジオ | 帯広 | 1,071kHz | |
| NHK第2 | NHKダイ2 | 室蘭 | 1,125kHz | |
| 〃 | 〃 | 帯広 | 1,125kHz | |
| 北海道(AM) | 〃 | 〃 | 釧路 | 1,152kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 北見 | 1,188kHz |
| | STVラジオ | STVラジオ | 旭川 | 1,197kHz |
| | HBCラジオ | HBCラジオ | 帯広 | 1,269kHz |

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 | |
|---------|----------|------------|----------|----------|---------|
| 北海道(AM) | HBCラジオ | HBCラジオ | 札幌 | 1,287kHz | |
| | 〃 | 〃 | 稚内 | 1,368kHz | |
| | 〃 | 〃 | 釧路 | 1,404kHz | |
| | STVラジオ | STVラジオ | 札幌 | 1,440kHz | |
| | HBCラジオ | HBCラジオ | 網走 | 1,449kHz | |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 函館 | 1,467kHz | |
| 東 | HBCラジオ | HBCラジオ | 旭川 | 1,494kHz | |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 旭川 | 1,602kHz | |
| | FM岩手 | FMイフテ | 盛岡 | 76.1MHz | |
| | FM仙台 | Date FM | 仙台 | 77.1MHz | |
| | エフエム青森 | エフエムアオモリ | 青森 | 80.0MHz | |
| | FM山形 | FMヤマガタ | 山形 | 80.4MHz | |
| | ふくしまFM | フクシマFM | 郡山 | 81.8MHz | |
| | NHK-FM | NHK-FM | 山形 | 82.1MHz | |
| | 北(FM) | 〃 | 〃 | 仙台 | 82.5MHz |
| | | FM秋田 | FMアキタ | 秋田 | 82.8MHz |
| NHK-FM | | NHK-FM | 盛岡 | 83.1MHz | |
| 〃 | | 〃 | 福島 | 85.3MHz | |
| 〃 | | 〃 | 青森 | 86.0MHz | |
| 〃 | | 〃 | 秋田 | 86.7MHz | |
| 東 | NHK第1 | NHKダイ1 | 盛岡 | 531kHz | |
| | 〃 | 〃 | 山形 | 540kHz | |
| | IBC岩手放送 | IBCイフテホウソウ | 盛岡 | 684kHz | |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 秋田 | 774kHz | |
| 北(AM) | NHK第1 | NHKダイ1 | 仙台 | 891kHz | |
| | 山形放送 | ヤマガタホウソウ | 山形 | 918kHz | |
| | 秋田放送 | アキタホウソウ | 秋田 | 936kHz | |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 青森 | 963kHz | |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 仙森 | 1,089kHz | |
| 青森放送 | アオモリホウソウ | 青森 | 1,233kHz | | |
| 東北放送 | トウホクホウソウ | 仙台 | 1,260kHz | | |

・2001年3月現在の主な放送局と周波数です。

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|--------------------------|----------|-----------|---------|----------|
| 東 北 (AM) | NHK第1 | NHKダイ1 | 福島 | 1,323kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 盛岡 | 1,386kHz |
| | ラジオ福島 | ラジオフクシマ | 福島 | 1,458kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 秋田 | 1,503kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 山形 | 1,521kHz |
| | AFN | AFN | 沢 | 1,575kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 福島 | 1,602kHz |
| 関 東 地 方 (FM) | インター FM | インターFM | 東京 | 76.1MHz |
| | FM 栃木 | レディオ・ベリー | 宇都宮 | 76.4MHz |
| | 放送大学 | ハウソウダイガク | 東京 | 77.1MHz |
| | BAY-FM | BAY-FM | 船橋 | 78.0MHz |
| | FM-FUJI | FM-FUJI | 三ツ峠 | 78.6MHz |
| | 放送大学 | ハウソウダイガク | 前橋 | 78.8MHz |
| | NACK 5 | NACK 5 | 浦和 | 79.5MHz |
| | TOKYO FM | TOKYO FM | 東京 | 80.0MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 宇都宮 | 80.3MHz |
| | 〃 | 〃 | 千葉 | 80.7MHz |
| | J-WAVE | J-WAVE | 東京 | 81.3MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 前橋 | 81.6MHz |
| | 〃 | 〃 | 横浜 | 81.9MHz |
| | 〃 | 〃 | 東京 | 82.5MHz |
| 〃 | 〃 | 水戸 | 83.2MHz | |
| FMヨコハマ | FMヨコハマ | 横浜 | 84.7MHz | |
| NHK-FM | NHK-FM | 浦和 | 85.1MHz | |
| FM群馬 | FMゲンマ | 前橋 | 86.3MHz | |
| 関 東 地 方 (AM) | NHK第1 | NHKダイ1 | 東京 | 594kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 〃 | 693kHz |
| | AFN | AFN | 〃 | 810kHz |
| | TBSラジオ | TBSラジオ | 〃 | 954kHz |
| | 文化放送 | ブンカハウスウ | 〃 | 1,134kHz |
| | 茨城放送 | イバラキハウスウ | 水戸 | 1,197kHz |

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|--------------------------|----------|-----------|---------|----------|
| 畿 東 圏 | ニッポン放送 | ニッポンハウスウ | 東京 | 1,242kHz |
| | ラジオ日本 | ラジオニッポン | 横浜 | 1,422kHz |
| 中 部 地 方 (FM) | 栃木放送 | トチギハウスウ | 宇都宮 | 1,530kHz |
| | FM福井 | FMフクイ | 福井 | 76.1MHz |
| | FM新潟 | FMニイガタ | 新潟 | 77.5MHz |
| | ZIP FM | ZIP FM | 名古屋 | 77.8MHz |
| | 新潟県民エフエム | FM Port | 新潟 | 79.0MHz |
| | K-MIX | K-MIX | 静岡 | 79.2MHz |
| | RADIO-i | RADIO-i | 名古屋 | 79.5MHz |
| | FM長野 | FM ナガノ | 美ヶ原 | 79.7MHz |
| | 岐阜FM | ギフ FM | 高山 | 80.0MHz |
| | FM石川 | FM イシカワ | 金沢 | 80.5MHz |
| | FM AICHI | FMA | 名古屋 | 80.7MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 富山 | 81.5MHz |
| | 〃 | 〃 | 金沢 | 82.2MHz |
| | 〃 | 〃 | 新潟 | 82.3MHz |
| 〃 | 〃 | 名古屋 | 82.5MHz | |
| FM とやま | FM トヤマ | 富山 | 82.7MHz | |
| FM-FUJI | FM-FUJI | 坊ヶ峰 | 83.0MHz | |
| NHK-FM | NHK-FM | 福井 | 83.4MHz | |
| 〃 | 〃 | 岐阜 | 83.6MHz | |
| 〃 | 〃 | 長野 | 84.0MHz | |
| 〃 | 〃 | 甲府 | 85.6MHz | |
| 〃 | 〃 | 静岡 | 88.8MHz | |
| 中 部 地 方 (AM) | NHK第2 | NHKダイ2 | 静岡 | 639kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 富山 | 648kHz |
| | 〃 | 〃 | 名古屋 | 729kHz |
| | 北日本放送 | キタニホンハウスウ | 富山 | 738kHz |
| | YBSラジオ | YBSラジオ | 甲府 | 765kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 長野 | 819kHz |

放送局名一覧(つづき)

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|-----------|--------------|-----------|----------|----------|
| 中部地方(A・M) | NHK第1 | NHKダイ1 | 新潟 | 837kHz |
| | 福井放送 | フクイハウソウ | 福井 | 864kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 静岡 | 882kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 名古屋 | 909kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 福井 | 927kHz |
| | ∕ | ∕ | 甲府 | 927kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 富山 | 1,035kHz |
| | CBCラジオ | CBCラジオ | 名古屋 | 1,053kHz |
| | 信越放送 | シンエツハウソウ | 長野 | 1,098kHz |
| | 北陸放送 | ホクリクハウソウ | 金沢 | 1,107kHz |
| | 新潟放送 | ニイガタハウソウ | 新潟 | 1,116kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 金沢 | 1,224kHz |
| | 東海ラジオ | トウカイラジオ | 名古屋 | 1,332kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 金沢 | 1,386kHz |
| 静岡放送 | シズオカハウソウ | 静岡 | 1,404kHz | |
| 岐阜ラジオ | ギフラジオ | 岐阜 | 1,431kHz | |
| NHK第2 | NHKダイ2 | 長野 | 1,467kHz | |
| ∕ | ∕ | 福井 | 1,521kHz | |
| ∕ | ∕ | 新潟 | 1,593kHz | |
| ∕ | ∕ | 甲府 | 1,602kHz | |
| 近畿地方(F・M) | FM CO・CO・LO | CO・CO・LO | 生駒山 | 76.5MHz |
| | E-Radio | E-Radio | 滋賀 | 77.0MHz |
| | Kiss-FM KOBE | Kiss-FM | 姫路 | 77.6MHz |
| | FM 三重 | FM ミエ | 津 | 78.9MHz |
| | FM 802 | FM 802 | 大阪 | 80.2MHz |
| 近畿地方(F・M) | NHK-FM | NHK-FM | 津 | 81.8MHz |
| | ∕ | ∕ | 京都 | 82.8MHz |
| | ∕ | ∕ | 大津 | 84.0MHz |
| | ∕ | ∕ | 和歌山 | 84.7MHz |
| | FM 大阪 | fm osaka | 大阪 | 85.1MHz |

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|-----------|--------------|-----------|----------|----------|
| 近畿地方(F・M) | NHK-FM | NHK-FM | 神戸 | 86.5MHz |
| | ∕ | ∕ | 奈良 | 87.4MHz |
| 近畿地方(A・M) | ∕ | ∕ | 大阪 | 88.1MHz |
| | FM 京都 | α-STATION | 大津 | 89.4MHz |
| | Kiss-FM KOBE | Kiss-FM | 神戸 | 89.9MHz |
| | AM KOBE | AM KOBE | 神戸 | 558kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 大阪 | 621kHz |
| | ∕ | ∕ | 大阪 | 666kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 大阪 | 828kHz |
| | ABCラジオ | ABCラジオ | ∕ | 1,008kHz |
| | KBS京都 | KBSキョウト | 京都 | 1,143kHz |
| | MBSラジオ | MBSラジオ | 大阪 | 1,179kHz |
| ラジオ大阪 | ラジオオオサカ | ∕ | 1,314kHz | |
| 和歌山放送 | ワカヤマハウソウ | 和歌山 | 1,431kHz | |
| 中国地方(F・M) | 岡山エフエム放送 | FMオカヤマ | 岡山 | 76.8MHz |
| | エフエム山陰 | エフエムサンイン | 松江 | 77.4MHz |
| | 広島FM | ヒロシマFM | 広島 | 78.2MHz |
| | FM 山口 | FMヤマグチ | 山口 | 79.2MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 松江 | 84.5MHz |
| | ∕ | ∕ | 山口 | 85.3MHz |
| | ∕ | ∕ | 鳥取 | 85.8MHz |
| | エフエム山陰 | エフエムサンイン | 浜田 | 86.6MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 広島 | 88.3MHz |
| | ∕ | ∕ | 岡山 | 88.7MHz |
| 中国地方(A・M) | NHK第1 | NHKダイ1 | 岡山 | 603kHz |
| | ∕ | ∕ | 山口 | 675kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 広島 | 702kHz |
| | 山口放送 | ヤマグチハウソウ | 徳山 | 765kHz |
| | 山陰放送 | サンインハウソウ | 米子 | 900kHz |
| NHK第1 | NHKダイ1 | 下関 | 1,026kHz | |

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|----------|----------|-----------|----------|----------|
| 中国地方(AM) | NHK第1 | NHKダイ1 | 広島 | 1,071kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 鳥取 | 1,125kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 松江 | 1,296kHz |
| | 中国放送 | チュウゴクハウソウ | 広島 | 1,350kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 鳥取 | 1,368kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 山口 | 1,377kHz |
| | 〃 | 〃 | 岡山 | 1,386kHz |
| | 山陽放送 | サンヨウハウソウ | 岡山 | 1,494kHz |
| | AFN | AFN | 山口 | 1,575kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 松江 | 1,593kHz |
| 四国地方(FM) | FM香川 | FMカガワ | 高松 | 78.6MHz |
| | FM愛媛 | FMエヒメ | 高松 | 79.7MHz |
| | FM徳島 | FMトクシマ | 徳島 | 80.7MHz |
| | FM高知 | FMコウチ | 高知 | 81.6MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 徳島 | 83.4MHz |
| | 〃 | 〃 | 高松 | 86.0MHz |
| 四国地方(AM) | NHK-FM | NHK-FM | 高知 | 87.5MHz |
| | 〃 | 〃 | 高松 | 87.7MHz |
| | 高知放送 | コウチハウソウ | 高知 | 900kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 徳島 | 945kHz |
| | 〃 | 〃 | 松山 | 963kHz |
| | 〃 | 〃 | 高知 | 990kHz |
| NHK第2 | NHKダイ2 | 高松 | 1,035kHz | |
| 南海放送 | ナンカイハウソウ | 高松 | 1,116kHz | |
| 四国地方(AM) | NHK第2 | NHKダイ2 | 高松 | 1,152kHz |
| | 四国放送 | シコクハウソウ | 徳島 | 1,269kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 高松 | 1,368kHz |
| | 西日本放送 | ニシニホンハウソウ | 〃 | 1,449kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 松山 | 1,512kHz |

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|----------|----------|------------|--------|----------|
| 九州地方(FM) | Love FM | Love FM | 福岡 | 76.1MHz |
| | FM中九州 | FMナカキュウシュウ | 熊本 | 77.4MHz |
| | FM佐賀 | FMサガ | 佐賀 | 77.9MHz |
| | CROSS FM | CROSS FM | 福岡 | 78.7MHz |
| | SMILE-FM | SMILE-FM | 長崎 | 79.5MHz |
| | FM鹿児島 | FMカゴシマ | 鹿児島 | 79.8MHz |
| | FM福岡 | FMフクオカ | 福岡 | 80.7MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 佐賀 | 81.6MHz |
| | FM宮崎 | FMミヤザキ | 宮崎 | 83.2MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 長崎 | 84.5MHz |
| 九州地方(AM) | 〃 | 〃 | 福岡 | 84.8MHz |
| | 〃 | 〃 | 熊本 | 85.4MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 鹿児島 | 85.6MHz |
| | 〃 | 〃 | 北九州 | 85.7MHz |
| | 〃 | 〃 | 佐世保 | 86.0MHz |
| | 〃 | 〃 | 宮崎 | 86.2MHz |
| | FM大分 | FMオオイタ | 大分 | 88.0MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 〃 | 88.9MHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 宮崎 | 540kHz |
| | 〃 | 〃 | 鹿児島 | 576kHz |
| 〃 | 〃 | 福岡 | 612kHz | |
| NHK第1 | NHKダイ1 | 大分 | 639kHz | |
| 〃 | 〃 | 長崎 | 684kHz | |
| 〃 | 〃 | 熊本 | 756kHz | |
| NHK第2 | NHKダイ2 | 熊本 | 873kHz | |
| 九州地方(AM) | 宮崎放送 | ミヤザキハウソウ | 宮崎 | 936kHz |
| | NHK第1 | NHKダイ1 | 佐賀 | 963kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 福岡 | 1,017kHz |
| | 大分放送 | オオイタハウソウ | 大分 | 1,098kHz |
| | 南日本放送 | ミナミニホンハウソウ | 大分 | 1,107kHz |
| | 熊本放送 | クマモトハウソウ | 熊本 | 1,197kHz |

放送局名一覧(つづき)

| | 放送局名 | ステーションネーム | 場所 | 周波数 |
|--------------|--------|------------|-----|----------|
| 九州地方 (AM) | 長崎放送 | ナガサキホウソウ | 長崎 | 1,233kHz |
| | RKBラジオ | RKBラジオ | 福岡 | 1,278kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 長崎 | 1,377kHz |
| | ∕ | ∕ | 鹿児島 | 1,386kHz |
| | KBCラジオ | KBCラジオ | 福岡 | 1,413kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | 大分 | 1,467kHz |
| | ∕ | ∕ | 宮崎 | 1,467kHz |
| | AFN | AFN | 佐世保 | 1,575kHz |
| 沖縄 (FM) | FM 沖縄 | FM オキナワ | 那覇 | 87.3MHz |
| | NHK-FM | NHK-FM | 沖縄 | 88.1MHz |
| | AFN-沖縄 | FM AFN | ∕ | 89.1MHz |
| 沖縄 (AM) | NHK第1 | NHKダイ1 | 沖縄 | 549kHz |
| | AFN | AFN | ∕ | 648kHz |
| | 琉球放送 | リュウキュウホウソウ | 那覇 | 738kHz |
| | ラジオ沖縄 | ラジオオキナワ | ∕ | 864kHz |
| | NHK第2 | NHKダイ2 | ∕ | 1,125kHz |

・2001年3月現在の主な放送局と周波数です。

保証書とアフターサービス

●保証書の記載内容ご確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる製品については、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

●補修用性能部品の保有期間について

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、再度お調べください。
2. それでも正しく動作しないときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

・JVC CD/カセットレシーバー : KW-XC570(シルバー)
KW-XC570-B(ガンメタリック)
KW-XC570-W(ホワイト)

・お名前とおとこ

・電話番号

・故障の状態(詳しく) : 例 CDの演奏音が出ない。

別売りアクセサリ

- ・クリーニングキット : CK-25(CD用)
- ・オートヘッドクリーナー : CK-6(カセットプレーヤー用)
- ・RCA PIN コード : CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)
- ・変換コード : KS-U57(DIN→RCA PIN変換)
- ・リモコン : RM-RK41

故障かな？と思う前に

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

| 症 状 | 原 因 | 処 置 |
|---|--|--|
| どのボタンを押しても正しく動作しない。 | ・ 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。 | ・ リセットボタンを押して内蔵のマイコンをリセットする。→ 10 ページ参照 (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります) |
| TAPE▲(取出し) ボタンまたはCD▲(取出し) ボタンを押してもテープまたはCDの取り出しができない。 (TAPE ■■またはCD ■■が点滅表示されます) | ・ 盗難防止状態になっている。 → 11 ページ参照 | ・ テープの場合 TAPE/AUXボタンを押したままTAPE▲(取出し) ボタンを同時に2秒以上押す。 ・ CDの場合 CD/CHボタンを押したままCD▲(取出し) ボタンを同時に2秒以上押す。 「EJECT OK」が表示されテープまたはCDの取り出しができます。 |
| CDの演奏が始まらない。 | ・ 内部のレンズが結露している。 | ・ 電源を入れたまま約1～2時間待つ。 |
| FM放送(AM放送)がうまく受信できない。 | ・ オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブースタ電源端子)に「 <u>オートアンテナ</u> 」コードが接続されていない。 | ・ 「 <u>オートアンテナ</u> 」コードを正しく接続する。 |
| FM放送(AM放送)の雑音が多い。 | ・ 放送局の周波数に正しく合っていない。 | ・ 放送局に正しく合わせる。 |
| | ・ 放送局の電波が弱い。 | ・ 他の放送局を選局する。 |

| 症 状 | 原 因 | 処 置 |
|--|--|--------------------------------------|
| 電源が入らない。 (背面照明は点灯しているが、テープが入らない。) 音も出ない。 | ・ 接続コードの「リモート出力」のコードがショートしている。 | ・ 「リモート出力」のコードを絶縁テープなどでショート防止の処置をする。 |
| 「DISC ERROR」が表示される。 | ・ CDの読み取りでエラーが発生したため。 | ・ CD▲(取出し)ボタンを押したあとCDを入れ直す。 |
| 「NO NAME」が表示される。 | ・ ディスク名や曲名が記録されていないときDISPボタンを押したため。 | ・ ディスク名や曲名が記録されているディスクを入れる。 |
| ディスクの出し入れのとき、音が途切れる。 | ・ ディスクの出し入れのときは、音声にミュートリングをかけ雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。 | |
| ソース(音源)を「CDチェンジャー」にしたとき「RESET 8」が表示される。 | ・ CDチェンジャーとの通信エラーが発生している。 | ・ 接続コードを含め、CDチェンジャーとの接続を確認する。 |
| ソース(音源)を「CDチェンジャー」にしたとき「RESET  」が表示される。 | ・ CDチェンジャー本体にエラーが発生している。 | ・ CDチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。 |

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り
(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)
- エラー訂正方式：クロスインターリーブリードソロモンコード
- チャンネル数：2チャンネル
- 周波数特性：5 Hz~20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：99dB
- ワウ・フラッター：測定限界以下

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
 - 受信周波数：76.0MHz~90.0MHz
 - 実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
 - 受信周波数：522kHz~1,629kHz
 - 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

カセットプレーヤー部

- トラック方式：コンパクトカセット・ステレオ
- ワウ・フラッター：0.1%W・RMS
- 早巻き時間：約100秒(C-60)
- 周波数特性(再生)：ノーマルテープ 30Hz~16 kHz
- SN比(ノーマルテープ)：DOLBY B NR ON 65dB
DOLBY NR OFF 54dB

グライコ部

- グライコ中心周波数：LOW …50Hz、80Hz、120Hz
MID …700Hz、1 kHz、2 kHz
HIGH …8 kHz、12kHz
- コントロール範囲： $\pm 12\text{dB}$ (2 dBステップ)
- メーカープリセットモード：ユーロビート、メロウコア、レゲエ、Jポップ、リズム&ブルース、ハードロック、ヒップホップ、ジャズ、カントリー

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 45W+45W(4 Ω 、1 kHz)
リア 45W+45W(4 Ω 、1 kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ~8 Ω で使用可能)
- 入力端子：DINジャック(8ピン)×1、CDチェンジャー
(またはカーAV機器)接続用
AUX($\phi 3.5$ ステレオミニ)×1
- 出力端子：RCA端子(1系統)、2.0V/1k Ω
スピーカーコード(2系統、ギボン型)

電源部・その他

- 電 源 電 圧 : DC14.4V (11V~16Vで使用可能)
 マイナスアース車用
- 時 刻 表 示 : 12時間表示法
- 取 付 寸 法 : 幅178mm×高さ100mm×奥行150mm
- 外 形 寸 法 : 幅178mm×高さ100mm×奥行170mm
- 質 量 : 約2.2kg (付属品含まず)

付属品

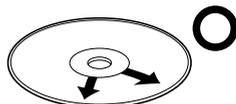
- ・接続コード(16ピンコネクター)..... 1
- ・ネジ(M5×6mm)..... 8
- ・皿ネジ(M5×6mm)..... 8
- ・マウンティングプレート(日産車用)..... 1

お手入れ

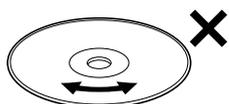
CD(コンパクトディスク)のお手入れ

本機に入れる前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
カーオーディオお客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品
サービス窓口案内」を
ご覧ください。

☎ (027)252-5145
FAX(027)254-8927 (ダイヤルイン)
受付時間 10:00~18:00
(土、日、祝日、当社休日を除く)
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。

汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

パーソナル& モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎ ダイヤルイン (027)254-8926